



開会あいさつ

地域経済研究推進協議会 会長
(中国経済連合会専務理事)

堀内 日出夫

地域経済研究推進協議会会長を仰せつかっております中国経済連合会の堀内でございます。本日はお忙しいなか、ご参加を賜り、誠にありがとうございます。第19回研究集会の企画・運営にあたりましては、広島大学地域経済システム研究センターをはじめ関係者の皆様にたいへんお世話になりました。あらためてお礼申し上げます。

また、このあと基調講演をいただきます中央大学経済学部の山崎朗先生には、遠路をお越しいただき、誠にありがとうございます。また、その後の報告討論会でご報告をいただきます中国・四国のシンクタンク関係者の方々に対しましても、ご多用のなか多数ご参加いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、第19回研究集会のテーマは「地方都市の再構築」というものです。皆様ご承知のとおり、新たな国土計画策定に並行して、地方におきましても広域地方計画づくりが動き始めたところでございます。先般、中国地方整備局などの主催により「中国地方の広域計画策定キックオフシンポジウム～中国地方のこれからを考える～」が開催されました。これは、広域地方計画について検討を進めていくきっかけになるかと思っております。

中国地方におきましては、中山間地域の衰退という状況に対して、どう対応するか、また、それを支えるべき都市、特に中小都市も衰退の危機に直面しておりまして、これら両者をどう再構築していくかということが、これからの大きな課題になるのではないかと考えております。

中国経済連合会におきましても、それらの課題に対してどうあるべきかを勉強しております。本日の議論の場を通じまして、いろいろなご示唆を頂戴し、大いに参考にさせていただきたいと考えております。それをふまえ中国地方の自立的・持続的発展に向けて、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

終わりにになりましたが、地域経済研究推進協議会、地方シンクタンク協議会中国・四国ブロック、中国地域シンクタンク協議会の方々には、一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本日開催の第19回研究集会が意義のあるものとなりますことを祈念いたしまして、たいへん簡単ではございますが開会のごあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。



センター長あいさつ

広島大学地域経済システム研究センター
センター長・教授 伊藤 敏安

広島大学大学院社会科学部研究科附属地域経済システム研究センターの前身、経済学部附属地域経済研究センターは1989年に設置されました。最初の10年が終わりました。現在は2回目の10年がほぼ終わりに近づいております。来年度と再来年度の2ヵ年を残すだけとなりました。

皆様方には来年度には当センターの点検・評価をお願いすると同時に、センターの存続とさらに新たな発展に向けまして、さまざまなご支援をお願いすることになると思います。引き続き積極的にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前センターの創立当初から、「地域の自立」ということが重要な研究課題となっておりました。その一環として、全国総合開発計画に対して地域の主体的な意見を提示していこうということで、初代センター長の櫛本功先生をはじめとして、長年にわたって研究や地域との連携活動が展開されてきました。

現在、新たな国土形成計画策定が進められ、まもなく広域地方計画づくりが開始されようとしております。そこで、今回の研究集会の統一テーマは「地方都市の再構築」にさせていただきました。また、地域経済研究推進協議会のご協力による寄附講義を毎年度開設させていただいておりますが、本年度は同じく「地方都市の再構築」という名称にしております。

本日の研究集会では、地域の自立に向けて「地方都市をどう組み立て直していくのか」という視点から、国土審議会委員でもあります中央大学の山崎朗先生をお迎えして「国土計画から見た地方都市の課題」というテーマで報告をいただきます。ご講演のあと、皆様方との意見交換や質疑応答の時間を取りたいと思いますので、そのおつもりでお聞きいただければと思います。